

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学地域救急医療支援講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究に協力します。本学における診療情報の提供について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 11月

福島県立医科大学地域救急医療支援講座 小野寺 誠

■ 研究課題名

ランデブーポイントで12誘導心電図検査を行い伝送システムを用いてドクターヘリで医療機関へ搬送したST上昇症例の検討

■ 研究期間

2024年11月 ～ 2025年3月

■ 研究の目的・意義

福島県は急性心筋梗塞の死亡率が全国平均と比べて高い率で推移しています。その原因として症状が出現してから治療終了までの時間が長いことが指摘されています。

福島県では2008年にドクターヘリを導入しており、2022年にはドクターヘリに心電図を医療機関へ伝送できるシステムを導入しました。その結果、特に病院まで距離の長い地域や、治療可能な医療機関への迅速な連絡・搬送が可能となり、死亡率の低下につながると考えられます。そこで今回、ドクターヘリで搬送した心筋梗塞が強く疑われる患者様の30日後の予後について検討することを目的に、症状出現から治療終了までの時間や、搬送距離、病院での血液検査結果を利用いたします。

■ 研究対象となる方

・福島県内で発生した胸痛を含む胸部症状をキーワードにドクターヘリが要請となった方のうち、フライトドクターが救急車内の患者様に接触するランデブーポイントで12誘導心電図検査を行い、ST上昇型心筋梗塞が疑われ、ドクターヘリで医療機関へ搬送された方が対象です。

・本研究は2022年7月より2024年8月までの期間にドクターヘリで医療機関へ搬送された方の中から、条件に合う方を対象といたします。

※ST上昇型心筋梗塞とは：心臓の内側から外側まで、心臓の筋肉（心筋）の壁が全層で死んでしまう疾患。ST上昇型の心筋梗塞は治療までの時間が重要で、心筋のダメージを小さくして、いかに早く冠血流を再開することができるかが、機能回復のために最も重要です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から年齢、性別、飲酒歴、喫煙歴、既往歴、症状が出現してから医療機関で治療が完遂されるまでの時間経過、ドクターヘリでの搬送距離、経過中のバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、SpO2値、体温）、医療機関搬入時の急性心筋梗塞に関連した血液検査項目、入院30日後の生死（予後）などの項目についてデータを収集します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年12月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学地域救急医療支援講座であり、研究責任者は、福島県立医科大学地域救急医療支援講座 教授 小野寺誠です。

また、既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学地域救急医療支援講座で利用し解析を行います。

【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学地域救急医療支援講座 教授 小野寺 誠
既存資料・情報の提供のみを行う機関	<ul style="list-style-type: none">・星総合病院心臓病センター 坂本 圭司・会津中央病院循環器センター長 保坂 浩希・寿泉堂総合病院循環器科内科部長 水上 浩之・総合南東北病院心臓・循環器センター副センター長 小野 正博・大原総合病院循環器内科主任部長 國井 浩行・福島赤十字病院循環器内科部主任部長 渡部 研一

■他の機関などへの試料・情報の提供について

該当はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研

2024年 9月 11日作成 (第1版)

究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学地域救急医療支援講座 担当：小野寺 誠

電話：024-547-1296 FAX：024-547-1291

e-mail：mdera@fmu.ac.jp